

ごあいさつ

このたびは追手門学院大学附属図書館『宮本輝ミュージアム』にご来場いただき、誠にありがとうございます。2011年春、「骸骨ビルの庭」をテーマに企画展を開催します。

『骸骨ビルの庭』（2009年 講談社刊）は、『群像』2006年6月号～2009年2月号に連載された長編小説で、第13回司馬遼太郎賞を受賞した作品です。

物語は、大阪・十三にある「骸骨ビル」と呼ばれる古びた西洋建築を舞台に、管理人として派遣されたある一人の男の日記形式で展開していきます。

男が派遣されたそのビルは、戦後2人の青年と戦災孤児たちが共に生き抜いた場所であり、そこには現代社会で希薄化している、「他者とのつながり」や「人間の心の強さ」が描かれています。

この企画展では、小説の紹介とともに、作品が描かれた舞台、作中に登場する文学作品にも焦点を当てて展示を行っております。皆様に「骸骨ビルの庭」の世界をより深く味わっていただければ幸いです。

今回の企画展に際しまして、多くの方々のご協力をいただきました。関係各位の多大なるご協力に感謝し、この場を借りて深くお礼を申し上げます。

宮本輝ミュージアム